

ドライブレコーダーの設置が効果的 ”赤信号で横断”した自転車~~が~~衝突事故で死亡…

2015年08月11日 09時40分

◆信号無視の自転車と衝突した場合の損害賠償額はいくら？

自転車は、道路交通法上では“軽車両”に位置づけられている。だが、その自覚のなさゆえか危険な運転をする運転者も多く、死亡事故につながるケースも少なくない。今回はその中から、赤信号で横断歩道を渡り、15歳という若さで命を落とした自転車運転者の事故事例を紹介する。果たして受け取れる賠償額はいくらなのか？

○“ウインカー消し忘れ”で衝突！ 裁判で厳しく指摘された事故事例

< 事故内容 >

2008年10月23日夜、愛知県の片側三車線の道路を走行していた乗用車が、横断歩道を進行してきた自転車と衝突。自転車運転者（15歳）は脳挫傷等の重傷を負い、約3週間後に死亡した。

< 判決 >

自転車運転者の遺族は、乗用車のドライバーに対し、人身傷害保険からの既払金を控除した約2,140万円を請求する訴えを起こした。

裁判では、主に“自転車運転者が信号を無視して横断したのかどうか”について争われた。4人の目撃者が証言した結果、判決では「自転車運転者が赤信号で横断歩道を渡り、乗用車側は青信号だった」と認められ、過失割合を自転車75%、乗用車25%と認定。乗用車側には合計約860万円の支払いが命じられた。なお、自転車運転者が赤信号で横断歩道を渡った理由は不明とされている（2012年1月11日名古屋地裁判決）。

この裁判では、目撃者の証言などがあって総合的に検討され、上述の判決が下された。だが、通常、事故時の信号の色を証明することは難しい。自転車に乗る際は交通ルールを遵守すること、ドライバーにとってはドライブレコーダーの設置が効果的であることがよくわかる事例といえるだろう。

過去3年間 トラック事故の特徴 “追突事故”が多い

追突事故の多くが、低速追従時の安心感と油断からくる、車間不足と注意力不足

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」 「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

子供たちが夏休みに入りました

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ〜し！」

軽乗用車が、ドラッグストア駐車場で暴走 男性がけが

2015年8月11日 18:02

11日午後3時40分ごろ、栃木県のドラッグストア駐車場で、パート女性(63)の軽乗用車が暴走し、店舗南側軒下の陳列棚に衝突した。また、自営業男性(55)を転倒させ、男性は軽いけがをした。警察によると、女性は店舗南側の駐車場に駐車しようとしていたところ、車を誤って暴走させたという。男性は現場で野菜を販売しており、車が自分の方向に向かってきたため走って逃げようとしたが、車の右前部が足に接触し転倒したという。

トラックが大型トレーラーに”追突” トラック運転手死亡

2015年8月11日 11時09分

11日午前1時ごろ、滋賀県名神高速道路で、運転手の男性(33)のトラックが、前を走っていた、運転手の男性(25)の大型トレーラーに追突。トラックの運転手は全身を強く打って死亡した。トラックの助手席の運転手の男性(31)は両足骨折などの重傷、大型トレーラーの運転手にけがはなかった。

交差点 軽自動車同士が出合い頭に衝突、1人死亡、4人重軽傷

2015年8月11日(火)11時34分

10日午後4時10分ごろ、福島県の交差点で、女性(75)の軽自動車と、会社員の女性(56)の軽自動車が出合い頭に衝突した。女性の車の後部座席に乗っていた女性(79)が首などを強く打ち、間もなく死亡した。女性が重傷、女性の車に同乗の女性2人と、会社員の女性が軽傷を負った。警察によると、現場には信号機があるが、事故当時の状態は不明という。